

# 食育通信

大分市立碩田学園

平成29年10月4日(水) No.4

毎回のキーワード

10月16日は世界食料デー

世界食料デー

(World Food Day)について



世界の食料問題を考える日として  
国連が制定した日、それが毎年10月16日の「世界食料デー」です。この日はFAO(国連食料農業機関)の創設記念日です。1979年の第20回FAO総会の決議に基づき、1981年から世界の共通の日として制定されました。世界の一人一人が

協力し合い、最も重要な基本的人権である「すべての人に食料を」を現実のものとし、世界に広がる栄養不足・飢餓・極度の貧困を解決していくことを目的としています

私たちの周りでは手に届くところに多くの食べ物があふれています。そのなかで食料を無駄にしているでしょうか。スーパー・コンビニやファーストフード店で食べられるのに廃棄するなどの「フードロス」が問題になっています。学校では家庭科の学習でも「計画的な買い物」等について学習します。

10月16日はご家庭でも世界の食料について考えてみませんか。

日本の自給率は

約40%以下

※カロリーベースとは、食料の熱量(エネルギー量)をもとに食料自給率を計算したものです。

27年度の食料自給率は、カロリーベース

では魚介類の国内生産及び自給率の高い米の消費が減少する一方、小麦及びてん菜の国内生産が増加したことから、前年度と同率の39%した。

また、生産額ベースでは、野菜及び畜産物の国内生産額が増加したことから、前年度から2ポイント上昇の66%となりました

《メモ MEMO》 5年生の家庭科の学習で「賞味期限」や「消費期限」について学習します。児童たちはしっかり見て買い物をしているようです。その中でも、すぐ使用するものは賞味期限が短いものを積極的に購入するという児童がいました。これもフードロスを防ぐ一つの方法です。

栄養教諭 時松玲子